



「早稲田リサーチパーク地区」におけるオオタカ繁殖状況の推移

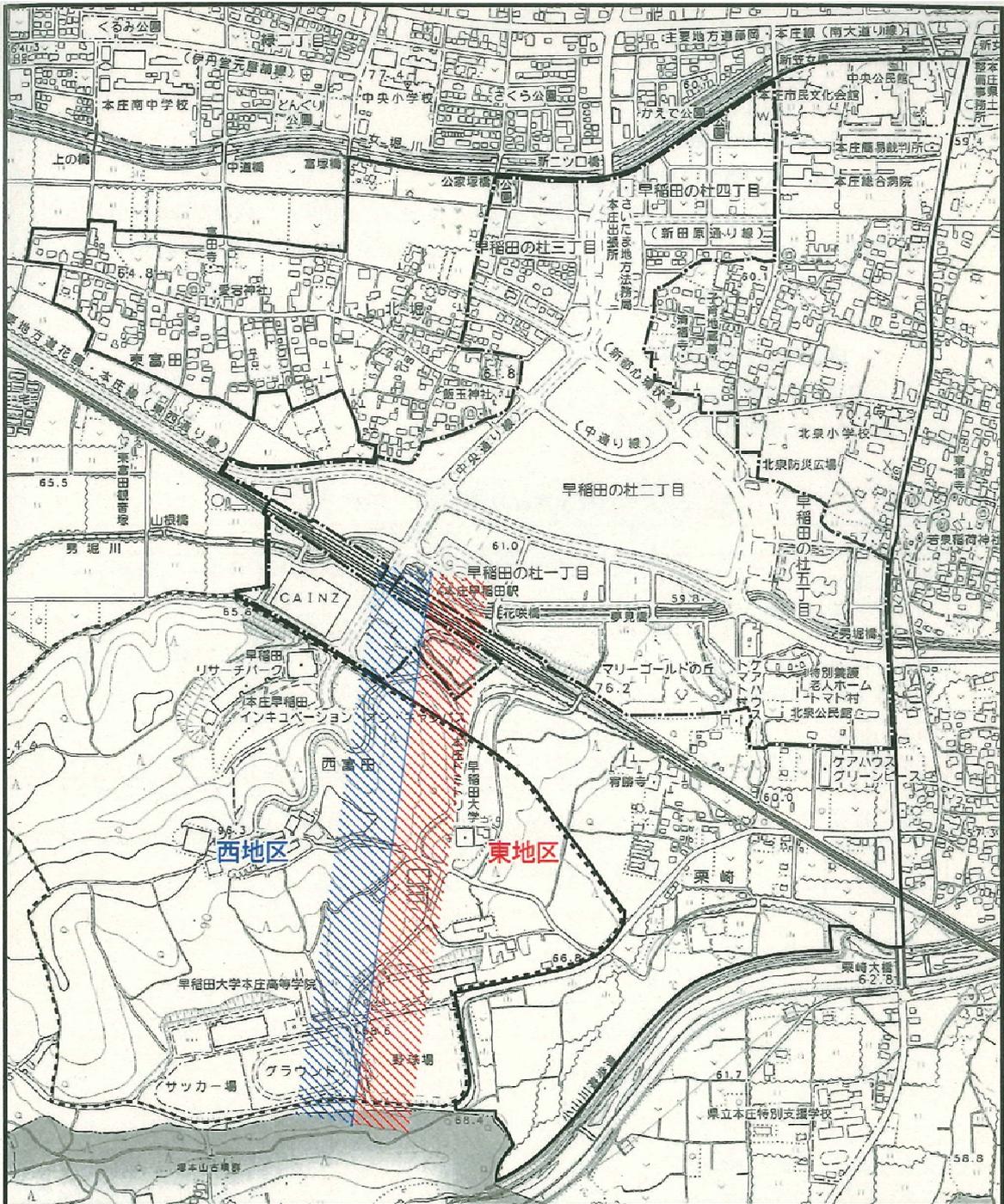
調査年	東地区	西地区	備考	
●繁殖1ペア時代 【定点観察等の調査資料により1ペアの継続的な繁殖を確認】				
1998年	×	抱卵段階で失敗	- 埼玉県オオタカ保護指針に基づく生態調査1年目	
1999年	×	造巣段階で放棄	×	抱卵段階で失敗 同一ペアが巣位置を移動させる 生態調査2年目
2000年	-	-	南地区に初めて営巣するが、繁殖失敗 以降モニタリング調査	
2001年	◎	1羽の幼鳥巣立ち	- 高校東側のマツ林に営巣	
2002年	×	抱卵段階で失敗	- 同上地点に営巣、'04年まで継続	
2003年	◎	3羽の幼鳥巣立ち	- リサーチパーク地区の工事着工	
●繁殖2ペア時代 【東地区オスの事故死に伴い2ペアの繁殖へ移行】				
2004年	×	抱卵段階で失敗	◎ 2羽の幼鳥巣立ち 東地区は♂が入れ替わる	
2005年	◎	1羽の幼鳥巣立ち	×	抱卵段階で失敗 東地区は巣が移動
2006年	◎	2羽の幼鳥巣立ち	◎ 2羽の幼鳥巣立ち 西地区は巣が移動	
2007年	◎	1羽の幼鳥巣立ち	×	抱卵段階で失敗 西地区は巣が移動
2008年	×	抱卵段階で失敗	◎ 2羽の幼鳥巣立ち 東・西地区ともに巣が移動	
2009年	×	育雛段階で失敗	◎ 1羽の幼鳥巣立ち 西地区は巣が移動 東地区では幼鳥の巣立ち情報もあり	
●不安定状況 1ペア～2ペア 繁殖失敗継続時代 【西地区オスの死亡に伴い東地区1ペアが繁殖】				
2010年	×	幼鳥巣立ち後に失敗	×	繁殖に至らず 西地区では成鳥♀は継続的に生息するものの、繁殖せず
2011年	×	抱卵段階で失敗	×	繁殖に至らず 西地区では成鳥♀が他地区で繁殖失敗した後に、戻る
2012年	×	抱卵段階で失敗	-	西地区では成鳥ペアが未確認になる
2013年	-	×	育雛段階で失敗	西地区では新規地点で営巣 東地区では成鳥ペア未確認
2014年	×	造巣段階で失敗	×	育雛段階で失敗 東・西地区ともに成鳥ペア(?)が新規地点で営巣
2015年	×	抱卵段階で失敗	-	西地区では成鳥ペアが未確認になる
2016年	-	-	-	東地区の西方700m程の新規地点で営巣するが失敗
●繁殖再度1ペア時代 【東地区に営巣地点が戻り継続的な繁殖を確認】				
2017年	◎	3羽の幼鳥巣立ち	-	東地区では新規地点で営巣 前年の巣では抱卵段階で失敗
2018年	◎	3羽の幼鳥巣立ち	-	東地区では前年と同じ巣で繁殖成功
2019年	◎	1羽の幼鳥巣立ち	-	東地区では前年と同じ巣で繁殖成功
2020年	◎	3羽の幼鳥巣立ち	-	東地区の南方150m程の新規地点で営巣し繁殖成功

※繁殖結果は、早稲田大学自然環境調査室、(公財)埼玉県生態系保護協会の調査資料に基づき作成

※東地区、西地区の区分は地図を参照



(写真提供：(財)埼玉県生態系保護協会)

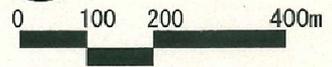


凡例

-  本庄新都心土地区画
整理事業区域
-  本庄早稲田駅周辺地区
-  早稲田リサーチ
パーク地区



Scale 1:10,000



営巣中心域の地区区分